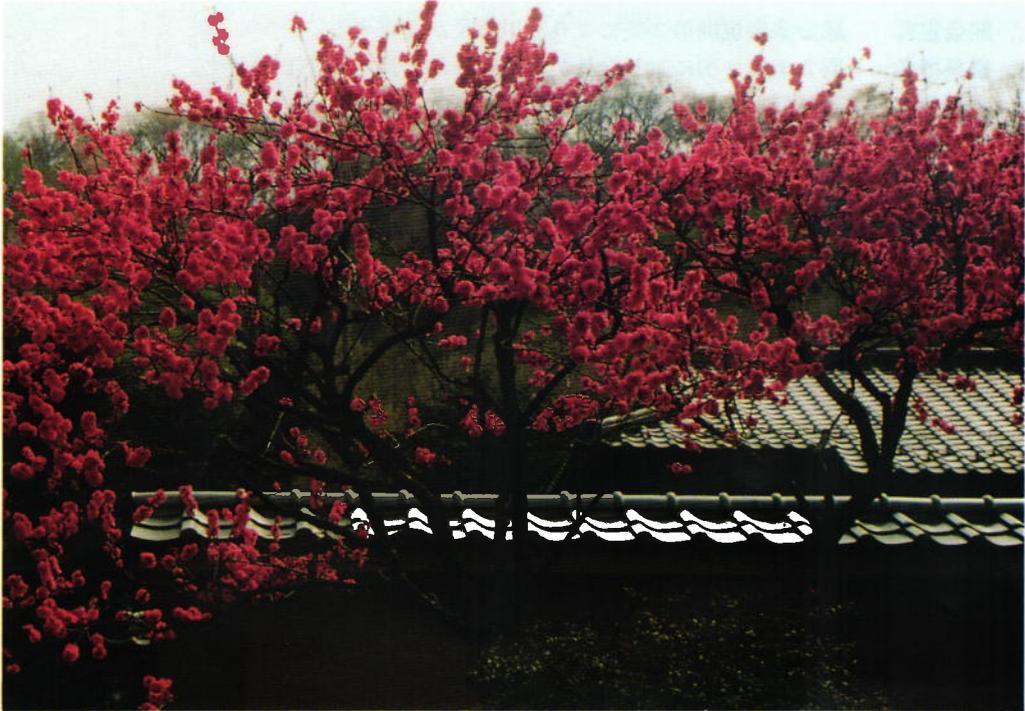


西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第292号 平成9年4月



『羽村 多摩川の畔り』 鹿野純一

目 次

	頁		頁
1. 平成8年度第2回定時総会開催		6. 各部だより	
広報部 … 2		学術インフォメーション 学術部 … 16	
2. 西多摩三師会シンポジウム開催報告		生涯教育申告書提出についてのお願い	
玉木一弘 … 4		学術部 … 18	
3. 「市民健康講座」開催	広報部 … 6	7. 地区だより 青梅地区	広報部 … 19
4. 理事会報告	広報部 … 7	8. お知らせ	事務局 … 20
5. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 15	9. 表紙のことば	鹿野純一 … 20
		10. あとがき	樋口昭夫 … 21

平成8年度 第2回定時総会開催

平成8年度第2回定時総会は平成9年3月29日(土) 午後4時30分より羽村コミュニティーセンター会議室にて、玉木総務部長の司会で開催されました。

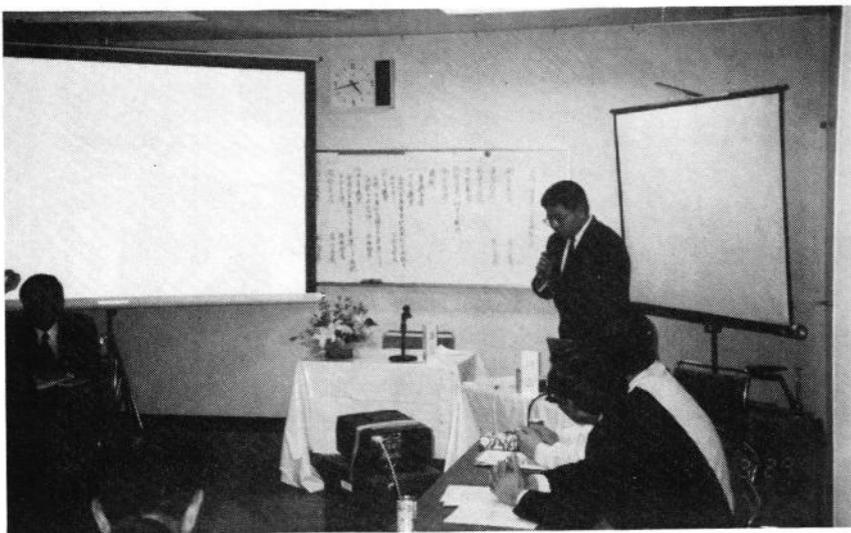
- 1. 開会宣言 総会議事規則第3条により宮川会長が宣言する。
- 1. 議長指名 同3条第2項により会長が川崎健一郎会員を選任し指名す。
- 1. 副議長指名 川崎議長が堤次雄会員を選任し指名す。
- 1. 資格審査 川崎議長が会員総数382名の内出席25名、委任状232名、計257名で会員総数の過半数(193名以上)で成立した旨報告す。
- 1. 物故会員に対する黙禱
平成9年1月17日に亡くなられた辻岡浩先生に対して黙禱を行った。
- 1. 開会挨拶 宮川会長
- 1. 議事録署名人指名 議長が木野村幸彦会員、細谷純一郎会員を指名す。
- 1. 議題
 - 第1号議案 平成9年度事業計画案につき承認を求める件
 - 第2号議案 平成8年度収支補正予算案につき承認を求める件
 - 第3号議案 平成9年度収支予算案につき承認を求める件

出席会員より、第1号議案につき、定款施行規則改定委員会の審議の進捗状況について、医師会報の編集方針について質問があった。又第3号議案について、「会議費」の積算根拠について質問があった。それぞれ担当理事等より答弁・説明が行なわれた。3議案とも賛成多数で原案通り承認された。

- 1. 閉会宣言 総会議事規則第3条により宮川会長が宣言す。
- 1. 閉会挨拶 真鍋副会長

尚、総会終了後、フリートーキングが行なわれた。新入会員の目白第2病院院長の佐藤信隆先生の自己紹介が行なわれ、学術部長の小机先生より、日本医師会生涯教育申告書の提出のお願いがなされた。会員よりの質問により、定款施行規則改定委員会の審議の中間報告、答申の目途について、真鍋副会長、川崎委員長より説明があった。4月からの医療費改定問題について、保険部、広報部の対応に迅速さが欠けるといふ指摘があった。



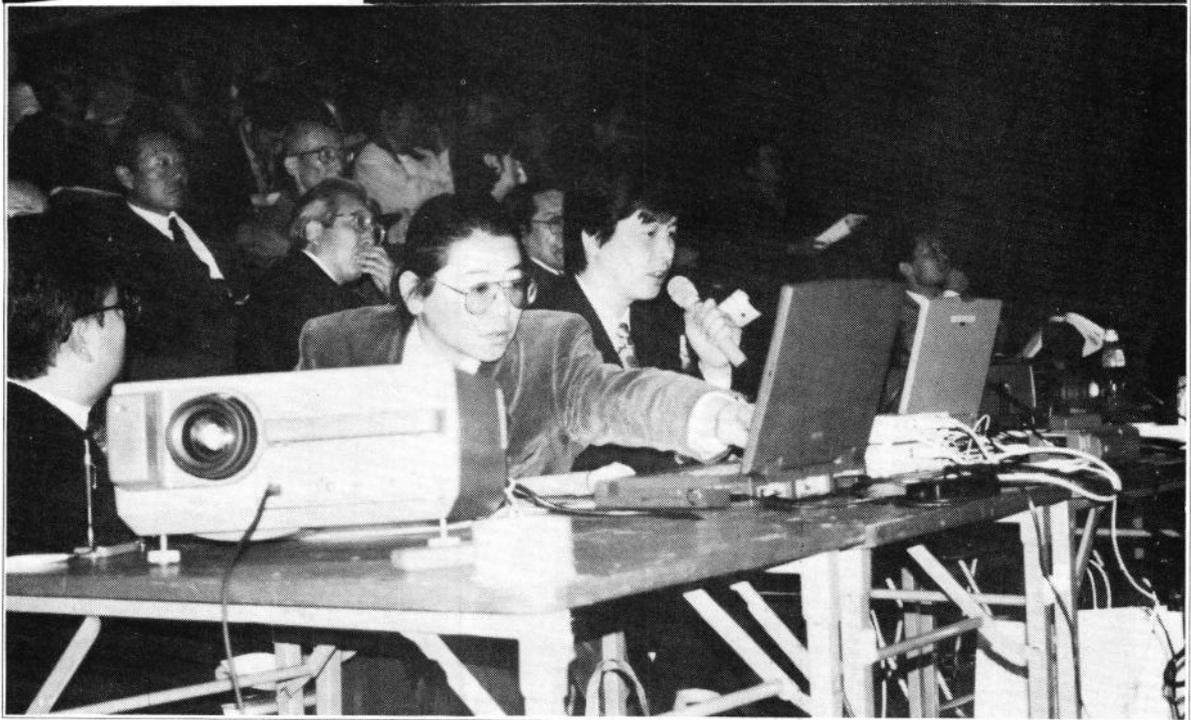


西多摩三師会シンポジウム開催報告

超簡単インターネット入門 1997年3月15日(土)PM.2:00-4:00

保健・福祉・医療・防災に於ける西多摩的活用法 羽村コミュニティーセンター

インターネットにスポットをあてた西多摩三師会主催によるシンポジウムが開催され、三師会、自治体、福祉関連従事者、アマ無線関係者等、約100名参加者を得た。前半にインターネットの現状や今後の可能性、アクセス法の紹介が行われ、後半で西多摩の包括的地域ケアや、防災に於ける活用法について、医・歯・薬会の仮想ホームページや保健・福祉・医療・防災情報ネットワークの具体的提案が実際にインターネットへのアクセス画面を実写しながら行われた。ディスカッション終了後の懇親会でも活発な意見交換が行われた。



講演要旨

Section I

超簡単インターネット入門



簡単入門 --- 『超理解』インターネット

城澤喜朝

インターネットは83年頃軍事利用のコンピュータネットワークから発祥しパソコンの性能向上や低価格化、閲覧ソフトの開発を背景に最近爆発的に普及した。電子メール、ニュースメディア、遠隔ビジネス、テレビ電話、通信販売等の媒体として発展し様々な分野で応用利用されて行くだろう。パソコンだけでなく携帯端末やインターネットテレビなど誰でも使える機器は普及しつつあり、たとえばコンビニでのショッピング端末なども考えられる。通信経路の拡大が今後の課題。

(株) システムイデア
(株) イデアプランテック
代表取締役

簡単アクセス --- つなげて見ようインターネット

菊池一夫



地球規模の情報通信ネットワーク・インターネットは、世界と結ぶ情報の窓として、都市部、過疎地域の差別化なく行政情報や地域、教育・学習、医療・福祉、産業など、多様な利用が行われている。アクセスには、パソコン、モデム(通信機器)、電話回線、閲覧ソフト、プロバイダ(回線接続業者)への加入が必要。インターネットの技術を企業内の閉じられたネットワークとして利用するイントラネットや企業間のエクストラネット等プロバイダーを介した様々な利用法がある。情報保安、コスト低減、内容の充実等が課題。

インターネットプロバイダ
光ネット
㈱日本アプリケーション
代表取締役

今、ここで見せますインターネット

森谷尊文



インターネットとパソコンをつなぐのは電話回線です。それには、モデムという変換器を使いパソコンの言葉であるデジタル信号を、人間の言葉と同じアナログ信号に変換し、電話線を通してネットワークにつながります。最近では、デジタル信号そのものを使って高速に通信するISDNという技術を使ったNTTの“INS64”があります。今回はNTTの協力を得て、この“INS64”を使いインターネットにアクセスしてみました。

西多摩歯科医師会理事
森谷歯科医院院長

Section II

保健・福祉・医療・防災に於ける西多摩的活用法

保健・福祉・医療とインターネット

玉木一弘



保健・福祉・医療情報の背景には情報公開、緊急伝達、保健・福祉・医療の統合等のニーズがある。情報セキュリティ、費用、規制緩和、標準形式確立が電子カルテや情報ネットワークの課題だが現実化しつつあり、ニューメディアへの対応が基本的責任となりつつもある。インターネットは画像・音声伝達、双方向性、コスト、世界共通形式等で優れる。医・歯・薬会の活動、病診連携、地域ケア連携と情報提供・災害救護活動等への活用法を提案した。

西多摩医師会理事
福生市医師会副会長
福生クリニック院長

こんなのどうです --- 医・歯・薬剤師会仮想ホームページ

中野和広



インターネットを通じて西多摩の医・歯・薬剤師会が地域に向けて様々なサービス情報を発信し、会員や保健・福祉・医療従事者に多様な実務支援情報と交流の場の提供を想定し、仮想ホームページを作って見ました。いつでもそこに行けば、包括的地域ケアを担う互いの心が響き合う。そんな『ホーム』ページが理想です。掲載情報の詳細は情報効率化委でも検討中です。

西多摩医師会
情報伝達効率化委員長
中野クリニック院長

ぐらっと来たら立ち上がる -- 西多摩防災ネットワークの提案

杉山行男



平時には、電話回線を使った保健・福祉・医療のコンピュータネットワークだが、災害時の電話や電気が使えない状況の中で、混乱回避のため、バッテリーの電源等を利用した、携帯パソコンと無線機を使用して、避難所から直接、リアルタイムで、安否収容情報などの収集と提供の方法を具体的に提案し、役所や基幹施設などに置くサーバーパソコンについても提案した。

福生交通安全協会理事
福生アマ無線クラブ会長
熊川商栄会会長

(有) 杉山 代表取締役

Section III

ディスカッション

パソコンの習熟度や予算により多様な選択が可能、パソコンセットなら、30万前後のもので通信ストレス無く出来る。NTTのISDNは既存回線をそのまま利用してデジタル通信に移行出来、高速で通信しながら、電話やFAXも使える利点がある。プロバイダーの利用が現実的だが入会費用だけでなく、待たされず直ぐつながるかどうかが接続性の良さを考慮する必要がある。医・歯・薬会の運営では共通情報が多く連携して効率よくホームページを運用していけるだろう。こうした電算化の潮流は好むと好まざると係わらず進み、情報公開を迫り、結果としてインフォームドコンセントが促進されるだろう。カルテが誰のものかを真剣に論じる時がこよう。平時の包括的地域保健・福祉・医療の担い手と、災害時に要介護者を救護するマンパワーは同じであり、同じ地域に住む者同士の連携にある。それがネットワークを支える源となる。保健・福祉・医療と防災情報の連携は当面西多摩全域で無くとも、1市町からでもまず始める事が必要では無いのか。

「市民健康講座」開催

3月29日(土) 午後3時より羽村コミュニティーセンター大ホールにて、西多摩医師会主催の市民健康講座が、フリーアナウンサーの大沢悠里氏を講師にお迎えし、「笑顔が一番」をテーマに開かれました。

一般市民の方も多数出席され、満席の会場は熱気にあふれ冷房を入れるようでした。

大沢悠里さんの講演は、話し言葉そのままです。まず出席者の心をつかみ、ユーモアたっぷりの話の中に、自分の人生経験(実家の没落、苦学生時代)や、闘病経験を随時、混じえながら、感謝の気持ちをもつ事、丈夫である事、健康である事が全ての基本で、それだけで有難いとの気持ちを持たなくてはいけません。「笑い」は人間だけの特権だからいつも笑いを生活の中に保ち、体の活力の源としていなくてはならない。

感動する心、旺盛な好奇心、人に見られているという緊張感の3つを絶えず持ち続けて、生きていかねばならない。こう書くと堅苦しい感じですが、こうした話を面白おかしく、肩のこらない話術の中で話され、1時間半、爆笑の渦の中で講演会は終了しました。大笑いして聞き終わりましたが、心の中に暖かいものが残っていった講演会でした。

(広報部)



理事会報告

★ Information

2月定例理事会

平成9年2月25日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 地区医師会長協議会報告

(宮川会長)

1. 都医からの伝達

- (1) 「公益法人の設立認可及び指導監督基準」及び「公益法人に対する検査等の委託に関する基準」について
社団法人に関する理事の在り方について変革があるようであるが、3年間の経過措置があるので早急に対応しないようにとのこと。
- (2) 特定疾患治療研究事業対象疾患の診断基準の改定に伴う東京都の対応について
難病の各疾患毎に診断書があるので注意すること。診断書は保健所にある。
- (3) 健やかTOKYOについて
広告等を申し込んで頂きたい。
MXテレビ（健康家族ABC）にも協力してほしい。
- (4) 老人保健施設における開設許可の申請等に係わる書類の取り扱いについて
医師会の同意書は不要とする。但し、市町村の意見書に地域医師会との連携内容について具体的に明らかにすることが必要である。
- (5) かかりつけ医機能推進事業、医療機能推進事業について
- (6) 平成7年度東京都非常勤産業医活動実績について
- (7) 老人保健施設について
32施設
- (8) 医師会共同利用施設設立計画状況調査（地区医師会まとめ）について
- (9) 在宅介護支援センター設置状況について
現在100施設
- (10) 訪問看護ステーション設置状況について
現在128施設

(II) 都立広尾病院歯科・口腔外科の紹介について

2. 協議事項

なし

3. 地区医師会からの報告

- (1) 看護婦等卒後教育講演会について (北多摩医師会)
盛況であった。

- (2) 日本医師会第28回全国学校保健・学校医大会（鳥取県医師会）シンポジウム「学校医研修会のあり方」アンケート協力について (小石川医師会)

4. その他

(II) 西多摩地域医療懇話会報告 (玉木理事)

2月22日福生にて担当理事、各市町村の首長との懇話会が行なわれた。

3月15日の三師会シンポジウムの広報について協力をお願いした。

(III) 在宅難病訪問事業連絡協議会報告 (唐橋理事)

2月24日都医にて開催。訪問事業数は年間1,040件程である。報告書の書き方が変更された。派遣医の報酬等の問題について話し合われた。

(IV) 各部報告 (担当部長)

(学術部) 3月29日の市民健康講座の案内等準備は進んでいる。

(学校医) いじめのアンケート協力について

(V) 各地区会よりの報告 (各地区長)

(青 梅) 2月18日西多摩納税貯蓄組合青梅支部会を行なった。

(福 生) 特になし。

(羽 村) 2月17日地区連絡会開催。総会問題について了承した。

(あきる野) 2月17日地区会開催。総会問題について了承した。

(瑞 穂) 特になし。

(日の出) 2月20日地区会開催。年末年始に2日間休日当番を行なう事とした。6、9ヶ月健診については集団健診方式で行なう事を再確認した。総会の問題については、開催場所については賛成するが、日時については平日を希望する。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 — (玉木理事)

(II) 平成9年度学校医等の推薦について

— 承認 — (玉木理事)

平成9年度日の出町立保育園囑託医の推薦について

宝 光保育園 神 尾 重 則 先生 さくらぎ保育園 川 崎 健一郎 先生
 大久野保育園 湯 川 文 朗 先生 大 正 保育園 川 崎 健一郎 先生

【3】 協議事項

(I) 平成9年度事業計画案について

(玉木理事)

細目について若干の修正を行なって承認した。

(II) 平成9年度収支予算案、平成8年度収支補正予算案について

(高水理事)

— 承認 —

(III) その他

(1) 大気汚染障害者認定審査会委員推薦について

松原貞一、大堀洋一、横田 博 各医師留任で推薦することとした。

(2) 総会議題の件

3月定例理事会

平成9年3月10日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 西多摩地区医療保健衛生協議会(医療協)報告

(大堀副会長)

2月26日福生で開催された。市町村あての各種診断書の書式の統一については原則として医師会案で了解する。平成9年度よりの母子保健事業の取り組みについて市町村より報告された。

(II) 定款施行規則改正検討委員会報告

(真鍋副会長)

「発議、発案」について討議中。

(III) 各部報告

(担当部長)

(学術部) 生涯教育申告書の提出をお願いする。

(学校医) いじめアンケートについて協力へ御礼。精神科学校医会の設立についてご協力をお願いしたい。

(IV) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青 梅) 3月18日役員会予定。

(福 生) 4月初めに地区総会予定。

- (羽 村) 3月18日地区総会予定。
- (あきる野) 3月17日地区会予定。
- (瑞 穂) 特になし。
- (日の出) //

(V) その他

(宮川会長)

多摩ブロック医師会会長会議が行なわれたが、その場で、東京都医師会福井会長が今期で退任される予定であるとの話があった。

【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 — (玉木理事)
- (II) 平成9年度学校医等の推薦について — 承認 — (玉木理事)

平成9年度日の出町学校医の推薦について

大久野小学校	川崎 健一郎 先生	大久野中学校	蓼 沼 翼 先生
平井小学校	湯川 文朗 先生	平井中学校	神尾 重則 先生
本宿小学校	篠原 秀隆 先生		

平成9年度瑞穂町学校医の推薦について

瑞穂第一小学校	小林 康光 先生	瑞穂中学校	新井 敏彦 先生
瑞穂第二小学校	丸野 仁久 先生	瑞穂第二中学校	波田野 洋夫 先生
瑞穂第三小学校	栗原 三省 先生		
瑞穂第四小学校	高水 松夫 先生		
瑞穂第五小学校	高水 松夫 先生		

東京都立学校医の推薦について

眼科医	(変更前)	(変更後)
秋川高等学校	北島 英彰 先生	天野 了一 先生
	平成9年3月31日退職(福生病院)による	

- (III) 東京都医師会代議員・予備代議員選出について — 承認 — (玉木理事)

東京都医師会代議員及び予備代議員候補者

代議員 (定員2名)		予備代議員 (定員2名)	
候補者氏名	推薦者氏名	候補者氏名	推薦者氏名
宮川 栄次	真鍋 勉・大堀 洋一	大堀 洋一	宮川 栄次・真鍋 勉
真鍋 勉	宮川 栄次・大堀 洋一	玉木 一弘	宮川 栄次・真鍋 勉

【3】 協議事項

- (I) 平成9年度第2回定時総会全般について (玉木理事)
式次第等全般について討議。
- (II) 西多摩H I Vネットワーク通信発行について (宮川会長)
通信誌の配布協力について了承した。
- (III) 結核診査協議会委員の推薦の件 (多摩川保健所・秋川保健所)
各地区より委員が出るように選出する。
- (IV) その他
- (1) 医薬品の業者との関係について
講演会、懇親会等への協賛・広告等の基準について、事例説明があった。詳細な事例集が医師会事務局に備えてあるので、参考にして下さい。
- (2) 平成8年度在宅医療医師研修会参加について
- (3) 敬人会設立の協力について
個人参加とする。

3月定例理事会

平成9年3月25日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

- (I) 東京都医師会第224回定時代議員会報告 (宮川会長)
福井会長の挨拶があり、今後、高齢者対策が重要課題となるので、医師会にも高齢対策担当理事が必要となるであろう。又、東京都病院協会が発足するとの事である。日本医師会予備代議員(補欠)の選挙、東京都医師会医学研究賞の表彰、平成8年度事業報告、会計報告、平成9年度事業計画、予算案について討議され承認された。
- (II) 西多摩三師会シンポジウム報告 (玉木理事)
3月15日羽村コミュニティーセンター大ホールにて、100名程の出席者にて盛況でした。
(詳しくは本文にて)
- (III) 地区医師会社保・国保担当理事連絡会 (石田理事)
4月よりの医療費改定、レセプトA4版化についての説明があった。同じ内容を3月31日、一般会員対象に講演会を行なう。医療費通知については、例年と同じく、国保・老人分について、300点以上について、5月、9月分を通知する。

(IV) 委員会（互助会あり方、情報伝達効率化）報告

(玉木理事)

- (互助会あり方) 答申の文章作りに入っている。4月末には答申予定。
 (情報伝達効率化) 4月中に答申予定。最終文案作りに入っている。

(V) 各部報告

(担当部長)

- (学校医) O-157対策が急務である。
 (保険部) 自賠責による自動車保険の医療費の「東京方式」が近々、日医のガイドラインに沿った形で統一される見込みである。

(VI) 各地区会よりの報告

(各地区長)

- (青 梅) 3月18日役員会、3月26日地区総会。3月27日学術講演会予定。
 (福 生) 4月4日地区総会予定。
 (羽 村) 3月18日地区総会。事業報告等。
 (あきる野) 3月17日地区会。阿伎留病院将来構想委員会に地区医師会より委員選出の予定。医師会費のランク分けの問題について討議があった。
 (瑞 穂) 特になし。
 (日の出) 特になし。

(VII) その他

(宮川会長)

結核診査協議会推薦委員の報告

秋 川保健所	杉 本	一 先生	川 崎 健一郎 先生
多摩川保健所	片 平 潤	一 先生	小 林 康 光 先生

【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 — (玉木理事)
 (II) 平成9年度学校医等の推薦について — 承認 — (玉木理事)

東京都立学校医の推薦について

眼科医	(変更前)	(変更後)
多摩工業高等学校	北 島 英 彰 先生	内 山 幸 英 先生

都立福生高等学校学校医（内科）・産業医の推薦について

(前任者) 山 田 正 哉 先生 (後任者) 道 又 正 達 先生

福生市立小・中学校学校医（内科）名簿

福生第一小学校	山口 太平 先生	福生第一中学校	西村 邦康 先生
福生第二小学校	中村 武 先生	福生第二中学校	山田 正哉 先生
福生第三小学校	渡邊 良友 先生	福生第三中学校	笠井 富貴夫 先生
福生第四小学校	星野 稔 先生		
福生第五小学校	林 實 先生		
福生第六小学校	道又 正達 先生		
福生第七小学校	栗本 義直 先生		

福生市立小・中学校学校医（耳鼻科）名簿

福生第一小学校	内山 大 先生	福生第一中学校	宮城 真理 先生
福生第二小学校	宮城 真理 先生	福生第二中学校	内山 大 先生
福生第三小学校	宮城 真理 先生	福生第三中学校	宮城 真理 先生
福生第四小学校	内山 大 先生		
福生第五小学校	宮城 真理 先生		
福生第六小学校	内山 大 先生		
福生第七小学校	宮城 真理 先生		

福生市立小・中学校学校医（眼科）名簿

福生第一小学校	馬 詰 良比古 先生	福生第一中学校	内山 幸英 先生
福生第二小学校	内山 幸英 先生	福生第二中学校	内山 幸英 先生
福生第三小学校	内山 幸英 先生	福生第三中学校	馬 詰 良比古 先生
福生第四小学校	馬 詰 良比古 先生		
福生第五小学校	馬 詰 良比古 先生		
福生第六小学校	内山 幸英 先生		
福生第七小学校	馬 詰 良比古 先生		

平成9年度羽村市公立学校医の推薦について

	(内科医)	(眼科医)	(耳鼻咽喉科医)
羽村東小学校	東 吉男 先生	真鍋 勉 先生	山田 登 先生
羽村西小学校	川口 卓治 先生	真鍋 勉 先生	山田 登 先生
富士見小学校	堤 次雄 先生	山下 和雄 先生	山田 登 先生
栄 小学校	佐藤タミエ 先生	真鍋 勉 先生	山田 登 先生
松 林小学校	塩澤 三朗 先生	山下 和雄 先生	山田 登 先生
小作台小学校	松田三樹雄 先生	真鍋 勉 先生	込田 茂夫 先生
武蔵野小学校	滝浦 復平 先生	山下 和雄 先生	山田 登 先生
羽村第一中学校	山川 淳二 先生	真鍋 勉 先生	込田 茂夫 先生
羽村第二中学校	宮地 誠 先生	山下 和雄 先生	込田 茂夫 先生
羽村第三中学校	村山 正昭 先生	山下 和雄 先生	込田 茂夫 先生

羽村市立保育園園医の推薦について

東	保育園	塩澤三朗先生	しらうめ保育園	東	吉男先生
西	保育園	関谷進一郎先生	さくら保育園	山	川淳二先生

【3】 協議事項

(I) 平成8年度第2回定時総会全般について

(玉木理事)

最終の打ち合わせを行なう。各地区で総会への出席を再度お願いしてほしい。

(II) その他

小机理事より、FAX連絡網での連絡については、事務局単独の判断でなく、担当理事や総務の判断で行なってほしいとの事。又、3月31日の講演会が地区の行事と重なってしまった事について、日程の調整は、もっと綿密に行なってほしいと要望が出された。

会員通知

- 診療報酬明細書様式のA4版化について
- 診療報酬明細書A4版化に伴うレセプトの提出方法について
- 「生活保護法による医療扶助運動要領について」の一部改正に伴う医療券・診療報酬明細書様式の変更について
- 診療報酬請求書の記載要領の一部改正及び診療報酬明細書等の様式について
- 学術講演会(3/12)
- 特殊疾患治療研究事業対象疾患(国の難病医療費公費負担疾病)の診断基準の改定に伴う東京都の対応について
- 平成8年度日本医師会生涯教育制度を終了するにあたっての生涯教育申告書の提出について
- 平成8年度特殊疾病講演会の開催について
- ポスター(市民健康講座)
- 高齢者のための西多摩在宅ケアマップ送付
- 国民健康保険一部負担金等一覧表
- 東京都の特別区・市町村及び国保組合の被保険者証の更新について
- 西多摩HIVネットワーク通信
- 東京都の心身障害者医療費助成制度(障)、特殊疾病等医療費助成制度(都)にかかる医療費請求書(社保分)の提出先の変更等について
- 薬価点数早見表等の斡旋について
- 8年度第2回定時総会開催について
- 市民健康講座(3/29)

医師会の動き

医療機関数 183 病院 28
 診療所 155
 会員数 386 A会員 173
 B会員 213

会議

3月3日 定款施行規則検討委員会
 10日 理事会
 17日 互助会あり方委員会
 21日 情報伝達効率化委員会
 24日 会報委員会
 25日 理事会
 29日 定時総会

31日 点数改正講習会

(1) 診療報酬明細書のA4版化
 について

東京都医師会理事

柳内 嘉先生

(2) 診療報酬点数の改正につい
 て

東京都福祉局医療指導官

渡辺幸一先生

(退会会員)

氏名 橋本正秀

病院名 鈴木慈光病院

役員出張

3月5日 都立青梅看護専門学校卒業式
 7日 福生准看護学院卒業式
 19日 都医生涯教育担当理事連絡会
 24日 集団個別指導立会
 28日 都医会長会
 // 多摩ブロック会長会

講演会・その他

3月8日 整備会
 12日 法律相談
 // 学術講演会
 演題：「誤りやすい皮膚真菌症
 の臨床」
 講師：くすのき皮膚科院長
 楠 俊雄先生
 19日 学術講演会
 演題：「脳血管障害とASO—
 動脈硬化の側面から」
 講師：東京医科大学老年科
 助教授
 岩本俊彦先生
 29日 市民健康講座
 演題：「笑顔は一番」
 講師：フリーアナウンサー
 大沢悠里氏



各部だより


学術部
Information

《4月の学術講演会》

- 1** 4月28日(月) 7³⁰ pm～ 於：西多摩医師会館講堂
演題名：「日内変動からみた高血圧治療」
講 師：東京女子医科大学附属第二病院内科1. 講師
渡 辺 尚 彦 先生

近年、24時間自動血圧測定装置の普及に伴い、血圧の日内変動が詳細に検討されてきました。それとともに高血圧治療における適切な降圧薬の選択の問題がクローズアップされています。

今回はこれらにつき最新の知見を解説していただき、明日からの診療に役立てていただきたいと思えます。

〈学術講演会聴講メモ(1)〉

平成9年3月12日(水)

演題名：「誤りやすい皮膚真菌症の臨床」

講 師：くすのき皮膚科院長 楠 俊 雄 先生

皮膚真菌症は、皮膚科診療の15%をしめ、その真菌症のうち、白癬症が87.5%、カンジダ症が8.9%であり、さらに、その白癬の6割が足白癬である。その皮膚糸状菌は小孢子菌属、白癬菌属、表皮菌属の3属に分類される。またその感染経路としてはヒトからヒトへ、動物からヒトへ、土壌からヒトへの3つの経路が考えられる。病理学的には、角質層のみの浸潤(爪などのケラチンも含む)にとどまるも、ステロイドの使用により、バリアを越え、深在性となる。いままで部位により種々な病名をつけられて来たが現在では、部位別白癬は頭部白癬、手白癬、股部白癬、足白癬と統一されている。一番多く見られる足白癬(水虫)は、医療機関160万~230万人、一般薬治療330万~430万人、未治療は800万~1000万人となり10人に1人位は、足白癬症と言える。足白癬の増悪因子は、細菌感染の合併、カブレの合併、湿疹との誤診にてのステロイド、ホルモン剤による増悪である。股部白癬は、陰囊部はおかされない。女性にもある事に留意すべきである。手白癬、頭部白癬は、アトピー、脂漏性湿疹との鑑別が重要である。ステロイドの誤使用、抗生剤長期使用による医原性によるものは、現在においては、重要な問題である。基礎疾患としては、糖尿病があるかどうかを充分留意すべきである。(渡辺)

〈学術講演会聴講メモ(2)〉

平成9年3月19日(水)

演題名：「脳血管障害とASO(閉塞性動脈硬化症)
—動脈硬化の側面から—

講 師：東京医科大学老年科助教授 岩 本 俊 彦 先生

下肢動脈の閉塞性病変は1955年には Buerger 病が主であったが、1985年には Buerger 病は減少してASOがほとんどとなった。ASOの診断基準は、major criteria として ①血管造影で証明 ②API (ankle pressure index) が0.8以下 ③虚血による間歇跛行があり、minor criteria として ④動脈拍動の減弱または欠損 ⑤壊疽、潰瘍の存在または既往 ⑥四肢動脈の著しい石灰化となっている。APIとは足関節部の収縮期血圧と上腕の収縮期血圧との比である。ASOのスクリーニング検査としては、非侵襲的で数量的に捉えることができることからAPIが最も適しているが、確定診断には血管造影が必要である。

さて、動脈硬化性病変としての脳血管障害とASOとの関連であるが、ASO患者40例の頭部CTの検査では26例65%に梗塞巣が認められた。このうちラクナ梗塞が17例42.5%、皮質または皮質下梗塞が3例7.5%、混在が6例15%、leuko araiosis (白質の虚血性変化)が8例20%であった。ASO例における梗塞群の危険因子としては、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、虚血性心疾患であった。逆に脳血栓症(片麻痺)46例のAPI値をみると、0.9未満が8例17%、0.8未満が9例20%であり、その危険因子は高血圧、糖尿病、喫煙、虚血性心疾患であった。したがって脳血管障害とASOの合併頻度が高いことが判明した。

近年、画像診断法の進歩により頸動脈病変(プラーク)が簡単に超音波断層法で血管内腔に突出する壁の肥厚として捉えられるようになった。超音波断層法による頸動脈病変の検索では、対照群における有病変22.5%に比べASO群の有病変は85.5%と高率に認められた。このようなプラークが脳ドック等で見つかった場合、将来脳血管障害を始めとする動脈硬化性疾患を引き起こすことが予想されるが、現段階では大きな狭窄の場合は手術するがそれ以外はず risk factor の治療が優先される。抗血小板薬に関しては2ヶ月の短期投与でAPI, T. chol, HDL, chol などの有意な改善が認められているが、長期トリアルによる臨床的評価は未だ研究中である。

(森本)

平成8年度 日本医師会生涯教育制度、 生涯教育申告書提出についてお願い

今年も「生涯教育申告書」提出の時期がまいりました。昨年までと比べ書式及び内容が簡略化し、誰でも提出しやすい変更がなされております。

「生涯教育申告書」は平成9年3月1日発行、日本医師会雑誌（第117巻第5号）とともに、既に皆様のお手元に着いております。必要事項記入の上、4月15日までに西多摩医師会事務局へ御提出お願い致します。

最近、厚生省等におきまして、「保険医の定年制」、「医師免許更新制」をめぐる論議が、次第に活発化しています。医師会員が年間の学習成果を申告することは、医師が勉学に励んでいる実態を社会に示すこととなり、信頼を増すことにつながります。口先だけで「勉強している」とか「医師は勉強するのが当たり前」と言っても、社会は評価してくれない時代です。

以上の理由から医師全体の申告率を上げ、今後の医師に対する社会的評価の向上に努めるべき、と考えております。

「生涯教育申告書」の御提出、重ねて宜しくお願い申し上げます。

締切りは4月15日(火)です。

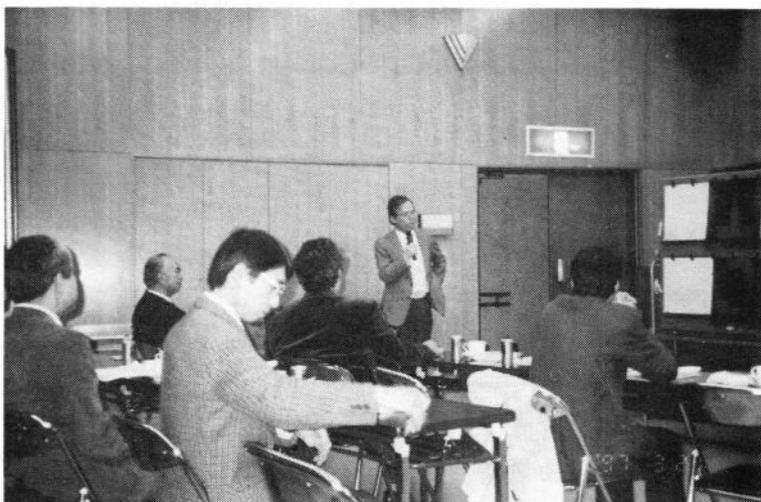
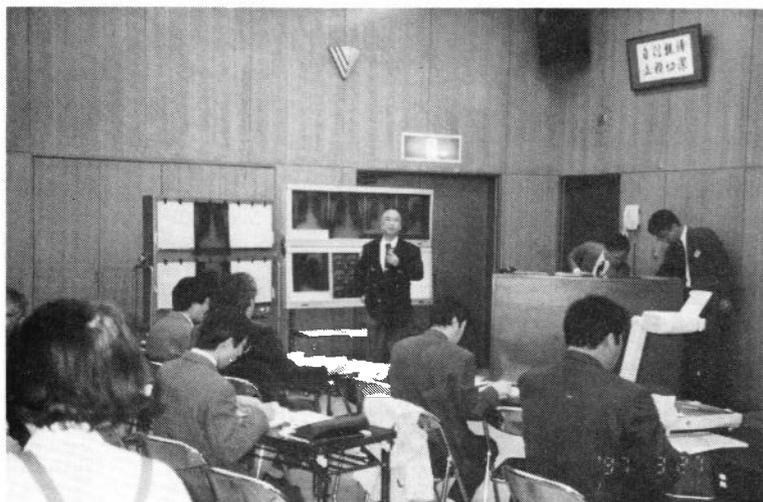
(学術部長 小机敏昭)

地区だより**青梅地区****青梅医師会学術部主催勉強会報告**

青梅医師会学術部主催の勉強会が3月27日(木)午後7時より青梅市立総合病院 南棟3階講堂で行なわれました。講師は青梅市立総合病院呼吸器科部長の大玉信一先生で、胸部レントゲン読影のポイントをテーマにお話を伺いました。青梅地区以外の西多摩医師会の先生方も参加させて頂きました。豊富なスライドと詳細なプリントで、肺癌を中心に、

読み誤り易いポイント等を分かり易く解説していただきました。最後に会員の先生の症例検討もして頂き、あっという間の2時間でした。青梅地区会学術部として、これから定期的なこうした勉強会を継続していく予定のことですので楽しみです。

(広報部)



お知らせ

事務局より お知らせ

5月（4月診療分）の

保険請求書類提出日

5月8日（木）

— 正午迄です。 —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 4月は9日（水）
5月は14日（水）の予定です。
 - ◎ 場所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙の絵画・写真・御意見・文壇
毎月15日 〆切

原稿募集

函件・諸事百般……投稿自由
事務局又は
広報委員まで

表紙のことば

『羽村 多摩川の畔り』

昨年女性二人の撮影会が開かれましたが、満開の風景に心がひかれました。

鹿野純一

あとがき

4月から医療点数・薬価の改定に、レセプトA4版化と、事務の面倒な変更ばかりで、大忙がしのことと思います。診療所は小巾な改定ですが、病院の方は益々複雑になっていってるようです。わざと難解・複雑にして、こんなに面倒ならいっそ定額制にという布石なのではと妙に勘ぐりたくってしまいます。

「冬来たりなば、春遠からじ」、医療の本質を見失う事なく、春の到来を待ちたいものです。

樋口昭夫

社団法人 **西多摩医師会**

平成9年4月1日発行

会長 宮川栄次 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 樋口昭夫

石井好明 片平潤一 百瀬真一郎 高水松夫

田村啓彦 奥野 仁 小机敏昭

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康の輝きをひろげる。



株式会社 **ビー・エム・エル**

BML

本社・〒166 東京都杉並区梅田寺町1-34-5 TEL.03-3316-0111(代)
 総合研究所・〒350 埼玉県川越市町1-361-1 TEL.0492-32-0111(代)

品質管理と安定供給をモットーに
今日も歩むグリーンネットワーク

医薬品総合商社

東京医薬品株式会社

多摩支店

〒190 東京都立川市富士見町4丁目2番1号

TEL. 0425 (28) 0 7 0 3 (代表)

〈営業所〉

小金井第一営業所	〒184 東京都小金井市本町6丁目9番36号	TEL.0423(84)5181(代表)
小金井第二営業所	〒184 東京都小金井市本町6丁目9番36号	TEL.0423(84)5191(代表)
立川営業所	〒190 東京都立川市富士見町4丁目2番1号	TEL.0425(24)3361(代表)
八王子営業所	〒192 東京都八王子市大和田町1丁目8番24号	TEL.0426(46)7475(代表)
多摩営業所	〒206 東京都多摩市南野3丁目4番17号	TEL.0423(71)2671(代表)
小平営業所	〒187 東京都小平市小川東町4丁目6番6号	TEL.0423(43)5211(代表)
羽村営業所	〒205 東京都羽村市神明台3丁目32番2号	TEL.0425(55)7501(代表)

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のバイオニア
保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区原町1-3-5 TEL/022-238-3345(大代表)